

適用規格							
定 格	使用温度範囲	-55℃～ +105℃（注1）		保存温度範囲		-10℃～ +60℃（注3）	
	使用湿度範囲	20% ～ 80%（注2）		保存湿度範囲		40% ～ 70%（注3）	
	電 圧	AC/DC 250V		UL・C-UL規格	電 圧	AC/DC 30 V	
	電 流	AWG 22：3.0A AWG 24：2.5A AWG 26：2.0A AWG 28：1.0A AWG 30：0.5A		電 流	2.0A		
				適合コネクタ		DF51-2S-2C	
適合圧着端子				DF11-****SC(F)(##)			
性 能							
	項 目	試 験 方 法		規 格		QT	AT
構造	外観、構造、仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。		図面と合致していること。		○	○
	表示	目視にて確認する。				○	○
電氣的性能	低電圧、低電流下の接触抵抗	20mV 以下、1 mA（DC又は 1000 Hz）で測定する。		30 mΩ 以下		○	—
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。		1000 MΩ 以上		○	—
	耐電圧	AC 650 Vの電圧を 1 分間印加する。		せん絡・絶縁破壊がないこと。		○	—
機械的性能	繰り返し動作	30 回の抜き差しを行う。		①接触抵抗：30 mΩ 以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
	結合力及び離脱力	適合コネクタで測定する。		結合力 22.0 N以下 離脱力 0.5 N以上		○	—
	耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mmで 3 方向 各 10サイクル試験する。		①1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 軸両方向 各 3 回試験する。		①1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
環境的性能	定常状態の耐湿性	温度 +40 ± 2℃、湿度 90～95 %中に 96 時間放置する。 （室温に1～2時間放置後測定）		①接触抵抗：30 mΩ 以下 ②絶縁抵抗：500 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
	温度サイクル	温度 -55 → 105℃ 時間 30 →30分 を 5 サイクル 試験する。 槽の移し変えは時間は2～3分 （室温に1～2時間放置後測定）		①接触抵抗：30 mΩ 以下 ②絶縁抵抗：1000 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
	耐熱性	温度 +105 ± 2℃中に96時間放置する		①接触抵抗：30mΩ 以下 ②絶縁抵抗：1000 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
	耐寒性	温度 -55 ± 3℃中に96時間放置する		①接触抵抗：30mΩ 以下 ②絶縁抵抗：1000 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
備考 （注1）通電時の温度上昇を含む。 （注2）結露のないこと。 （注3）基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。 基板搭載後、輸送時の一時保管は使用温湿度範囲を適用。							
	△の数	訂正記事		設計		検図	
③	2	DIS-H-00005279		TS. MIYAKI		SZ. ONO	
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512（適応規格JIS C 5402）を適用している。				承認	HS. OKAWA		20180313
				検 図	ST. WADA		20180313
				担 当	TH. SATO		20180312
				製 図	TH. SATO		20180312
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目				図番	SLC-363919-20-00		
HRS	製 品 規 格 表			製品名	DF51-2P-2DS (20)		
	ヒロセ電機株式会社			製品コード	CL543-5110-0-20	③	1/2

性能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
環境的性能	はんだ耐熱性	【はんだ槽法の場合】△3 はんだ温度260℃ 5秒以内 【手はんだの場合】 はんだごて温度 270℃, 3秒の条件にてはんだ付けを行う。 但し、端子に力は加えないこと。	機能を損なうような、外観の変形及び端子等に著しいガタがないこと。△3	○	—
	はんだ付け性	はんだ温度 245 ℃, 浸せき時間 5 秒間の はんだ付けを行う。	はんだ浸せき面の95%以上が新しいはんだでぬれていること。	○	—